

事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	企画政策課
まちづくりの方向性	1 生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	1-4 「にのみやLife」の提案と発信
分野別方針	4 土地利用・都市基盤
実施計画事業	住宅ストック管理流通活用事業(No.39)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	住宅ストック管理流通活用事業	1.6	A
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、増加が想定される空家の管理や流通への対応 ・空き家バンクへの登録物件が少なく、また、通常の流通ルートでは売買等がされにくい物件が多いことから、実績が上がらない 		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	今後、増加することが想定される空き家等対策について、管理や流通、相談体制などの方向性を示し、今後の活用等に向けた計画を策定していく必要がある。 また、住宅ストック流通補助金は、町の住宅施策を一体的に包括した制度とするため、一部改善する必要がある。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	空家等対策検討委員会の意見を聞きながら、町の空き家等対策計画の策定を行い、併せて、住宅施策を包括する補助制度について検討を行う。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	まちの住環境保全の視点を持って、空家等対策計画の策定及び住宅施策を包括する補助制度の検討を進める必要がある。		

事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	企画政策課
まちづくりの方向性	3 交通環境と防災対策の向上
重点的方針	3-2 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
分野別方針	4 土地利用・都市基盤
実施計画事業	東大跡地・国立小児病院跡地の検討(No.42)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	まちづくり総合調整事業(公共施設再配置・町有地有効活用検討委員会)	89.6	A
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	・公共施設再配置・町有地有効活用策定方針を策定するにあたっての意見募集や広報の特集、地域への回覧等を行い、住民に対し周知を行っているが、反応があまりなく、住民の意識を高める必要がある。		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	説明	公共施設再配置・町有地有効活用策定方針に基づき、今後、10年間の実施計画を引き続き策定していく。

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	実施計画の策定にあたり、アンケート調査やワークショップを実施し、町民意見を聴取するとともに、住民意識の醸成に努める。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	公共施設の再配置を進めるには住民の理解と協力が不可欠なので、まずは、10年間の計画をきちんと示したうえで、今後も住民意識の醸成に努める。		

事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	企画政策課
まちづくりの方向性	3 交通環境と防災対策の向上
重点的方針	3-2 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
分野別方針	4 土地利用・都市基盤
実施計画事業	地域公共交通計画推進事業(No.44)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	交通計画推進事業	100.0	B
02	コミュニティバス運行事業	95.9	B
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	・デマンドタクシー及びコミュニティバスは運行実績が目標値を下回る状況が続いている。		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	C
	説明	平成25年より試行運行としてコミュニティバスの再編及びデマンドタクシーを実施してきたが、利用実績が等がともに目標値を下回っているため、抜本的な見直しを行い、デマンドタクシーは平成29年9月末を持って休止とし、コミュニティバスの再編を行うこととなっている。

方向性	
<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
意見等	町の基本的な考え方を整理して、コミュニティバスの運行ルート及び時刻等を検討し、平成29年10月より運行を行うが、利用実績等を踏まえながら、適宜、見直しを行う。 また、路線バスを含めた公共交通の在り方について、地域と協議しながら地域協議会等の設置に向けた検討を行う。

◎評価者[担当主管部長]	
<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
意見等	地域公共交通を維持していくためには、住民の主体的な関与が不可欠であるため、地域の理解を得ながら地域協議会の設置を進める。

事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	企画政策課
まちづくりの方向性	4 戦略的行政運営
重点的方針	4-2 戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進
分野別方針	7 自治体経営
実施計画事業	総合計画推進事業(No.85)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	総合計画策定推進事業(中期基本計画)	-	A
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・町民にわかりやすい評価システムの構築が必要 ・後期基本計画策定に向けた中期基本計画の総括の方法の検討 		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	説明 行政評価の目的は、総合計画の進行管理だけではなく、時代の変化に合わせ、計画そのものをより良い方向へ見直ししていくことにあるため、引き続き推進する必要がある。	

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	行政評価の手法について分かりやすいシステムを構築し、町民が理解しやすい公表方法を検討する。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	①町民が理解できる、②職員が業務改善の意識を持てる、③職員の業務負担を軽減する、の3つの視点を持って、行政評価システムの見直しを進める。		

事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	企画政策課
まちづくりの方向性	4 戦略的行政運営
重点的方針	4-2 戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進
分野別方針	7 自治体経営
実施計画事業	総合戦略推進事業(No.86)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	総合戦略推進事業	50.0	A
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・施策や事業の見直しに直結できるような評価手法の検討 ・町民に分かりやすい評価システムの構築 		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	基本目標の数値目標の達成に向け、時代の変化を見定めながら、施策や事業の見直しを行い、総合計画と整合を図りながら引き続き推進する必要がある。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	評価の手法について、効率的かつ効果的な手法の検討を行い、町民に理解しやすいシステムに改善が必要。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	①町民が理解できる、②職員が業務改善の意識を持てる、③職員の業務負担を軽減する、の3つの視点を持って、評価システムの見直しを進める。		

事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	企画政策課
まちづくりの方向性	4 戦略的行政運営
重点的方針	4-2 戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進
分野別方針	7 自治体経営
実施計画事業	行政改革推進事業(No.87)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	行政改革推進事業	-	A
02	男性職員の育児休業取得促進事業	-	B
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	・次期大綱及び推進計画の策定に向けた現計画の総括の手法		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	説明	第4次行政改革大綱及び推進計画を着実に推進し、時代にあった組織体制や将来を見据えた効率的かつ効果的な行政運営を目指す必要がある。	

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	現計画の進捗状況を踏まえ、次期計画の策定に向け、取り組みを総括する手法を検討する。						

◎評価者[担当主管部長]							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	第4次行政改革大綱推進計画の総括を元に、職員意見を十分に取り入れて、第5次行政改革大綱の策定に臨む。						

事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	企画政策課
まちづくりの方向性	3 交通環境と防災対策の向上
重点的方針	3-2 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
分野別方針	7 自治体経営
実施計画事業	安心して住み続けられる地域再生事業(No.92)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	安心して住み続けられる地域再生事業(公共施設再配置)	89.6	A
02	安心して住み続けられる地域再生事業(地域再生協議会)	86.8	A
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設再配置の実現に向けた計画の策定と財源の確保 ・地域再生協議会の継続的な運営と全町的な活動に向けた検討 		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	説明	公共施設再配置については、策定方針に基づき、今後、10年間に実施していく具体的な内容を実施計画として策定し、継続的な取り組みを行う必要がある。 また、地域再生協議会は、一色小学校区において、様々な活動が実施されているため、継続的な活動に向けた支援の必要がある。

方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持 <input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
意見等	公共施設再配置については実施計画を策定し、それに基づき継続的な取り組みを行う。 一色小学校区地域再生協議会については、継続的な活動ができるような仕組みづくりを検討していく。

◎評価者[担当主管部長]	
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持 <input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
意見等	公共施設の再配置を進めるには住民の理解と協力が不可欠なので、まずは、10年間の計画をきちんと示したうえで、今後も住民意識の醸成に努める。 一色小学校区地域再生協議会については、継続的に自走できるような仕組みづくりを検討していく。

事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	企画政策課
まちづくりの方向性	4 戦略的行政運営
重点的方針	4-2 戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進
分野別方針	7 自治体経営
実施計画事業	広域行政推進事業(No.93)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	広域行政推進事業	100.0	A
02	ごみ処理広域化の推進	-	A
03	消防広域化への取組み	-	B
04			
05			
課題 (箇条書き)	・効率的かつ効果的な行政運営に向け、様々な枠組みにおける広域連携を模索しながら、目的を明確にしていく必要がある。		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	説明	様々な行政課題に対し、広域的な枠組みにより解決が図られている。	

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	スケールメリットが期待できる業務や広域的な連携が必要な業務などについて広域行政を推進し、効果的な行政サービスを目指す。						

◎評価者[担当主管部長]							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	現在実施・検討が進んでいる業務だけではなく、効率的に行政サービスを提供するために、様々な可能性について検討する。						